

平成 21 年度ユニバーサルデザイン (UD) 教育の取組

1 学校名	武雄市町立西川登小学校		
2 所在地	武雄市西川登町神六 2 0 5 8 4		
3 校長名	大久保 美奈子		
4 学級数	6 学級	5 実施学年	4 年
児童生徒数	8 8 人	児童生徒数	1 8 人
6 取組のねらい	UD について理解をし、自分たちの学校・家庭・町にはどんなものがあるか意欲的に調べ、それをもとに自分なりに UD を考えることができる。		
7 取組の実際	<p>(1) UD について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ UD について書かれている本をもとに UD とはどんなものかを知る。 ・ 紙芝居「UD 探偵」を視聴し、クイズをもとに UD についての理解を深める。 <p>(2) 自分たちの学校・家庭・町にはどんな UD があるか調べる</p> <p>< 学校 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの水道・ ・手を洗う時、蛇口に触れないでもセンサーで水が出る。 ・ エレベーター・ ・目が見えない人にでも乗れるように、ボタンに点字がついている。 ・ エレベーターの鏡・ ・車いすの人が回転しなくてもドアが開いたことが分かるようについている。 ・ みんなのトイレ・ ・車いすや足をけがしている人でも、安心して使えるように、広くて手すりが付いている。 <p>< 家庭 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シャンプー・ ・目が悪い人や目をつぶっていても分かるようにギザギザがついている。 ・ 手すり・ ・お年寄りやけがをしたときに入りやすいようにトイレやお風呂についている。 ・ リモコン・ ・体の不自由な人でも簡単にチャンネルをかえられる。 		



<町>

- ・病院・・・自動販売機で、お金を入れるところが斜めになっていて、まとめて入れられる。
- ・ゆめタウン・・・足の不自由な人や車いすの人でも入りやすいようにスロープがついている。

(3) 調べたことをもとに、自分なりに UD を考える。

- ・手があまり使えない人や物をつかみにくい人にでも持ち手のところが握りやすくなっている歯ブラシ。

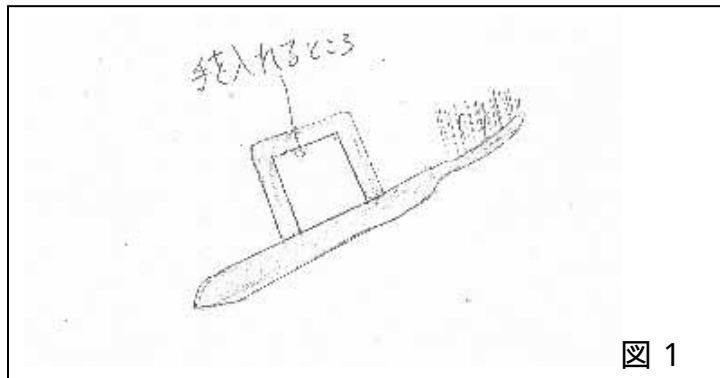


図 1

- ・バスのドアが開いたら、スロープが出てくる。お年寄りや小さい子などは段差を登るのが大変だからスロープをつけると、簡単にバスの乗り降りが楽にできるようになる。

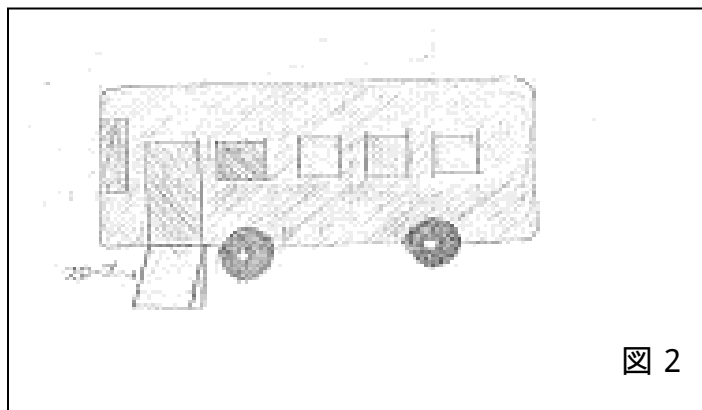


図 2

8 取組の成果と課題

UD について書かれている本や紙芝居を使ったことによって、理解を深めることができた。

UD を考える活動は、難しかったが自分なりに一生懸命に考えることができ、なるほどと思えるものもあった。(図1・図2)

障害者だけでなく、みんなが使いやすい UD を考えることを難しく思っている児童が多かった。体験などを通じた活動を多く取り入れることが必要だと感じた。